



今、注目される「プリントドエレクトロニクス技術」 の国際標準化活動 IEC TC119 : Printed Electronics

知的基盤部

プリントドエレクトロニクス技術は、導電性／半導体／絶縁インクなどと各種印刷技術を駆使して電子デバイスを製造する技術で、さらなる軽量、大面積、フレキシブル化の要求に応える技術であり、また低コスト化、省エネ化、生産性向上、廃棄物削減などの環境調和性の点でも期待されて

います。製品分野は、RF-IDなどの配線、フレキシブルな太陽電池、照明、デジタルサイネージ、電子ペーパー、有機ELディスプレイ、ヒューマンセンサなど、多岐にわたっており、近い将来のアンビエント社会を実現する基盤技術となることが期待されます。

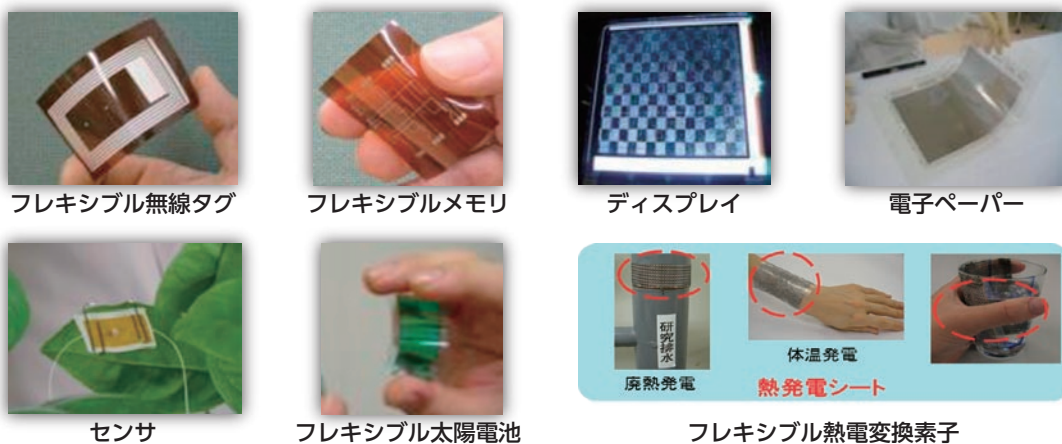


図1 プリントドエレクトロニクス技術を用いた製品イメージ

出典：独立行政法人 産業技術総合研究所

<経緯>

2011年 4月29日 IEC プリントドエレクトロニクス技術に関する新 TC 設立提案 (韓国) SMB/4497/NCP 文書
 同 9月19日 IEC TC119 設置決定、幹事国は韓国 SMB/4497C/RV 文書
 ・正メンバ国 10ヶ国 (日本、中国、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、イタリア、フィンランド、スウェーデン、ロシア)、オブザーバメンバ国 8ヶ国が参加。
 同 10月18日 日本工業標準調査会 (JISC) が JEITA を IEC TC119の国内審議団体に承認
 同 12月 7日 日本「IEC TC119国内審議委員会」設立
 JEITA では、経済産業省のご指導のもと、次世代プリントドエレクトロニクス技術研究組合 (JAPER) 、次世代化学材料評価技術研究組合 (CEREB) をはじめ関係団体、会員などの協力を得て発足しました。TC119分野は TC47, TC91, TC100, TC110, TC113などのスコープとも大いに関係することから、それぞれの国内審議委員会ともリエゾン関係を構築しています。
 2012年3月23日 JEITA「プリントドエレクトロニクス標準化専門委員会」を設置

【JEITA における標準化活動】

プリントドエレクトロニクスは、次世代印刷技術として期待されており、我が国の産業優位性を確保し、国際競争力のある産業育成を図っていくためにも産業界として積極的な関与が必要不可欠となっていることから、JEITAの委員会として「

プリントドエレクトロニクス標準化専門委員会」を設置し、TC119国内審議委員会における IEC 国際規格開発のための調査および原案作成等の推進を強力にサポートするとともに、国内審議委員会では対応できない事業、例えば具体的な標準化案の作成、普及、実用化に関わる調査研究・政策提言等、産業界として対応すべき課題に取り組んでいます。

【プリントドエレクトロニクス標準化専門委員会の主な活動テーマ】

- (1) プリントドエレクトロニクスに関する国際標準化の推進
- (2) プリントドエレクトロニクスに関する国内規格の制定・発行の推進
- (3) 規格開発に伴う実証試験
- (4) 関連標準化機関・団体との連携・交流
- (5) その他（勉強会、及び講演会等啓発事業）

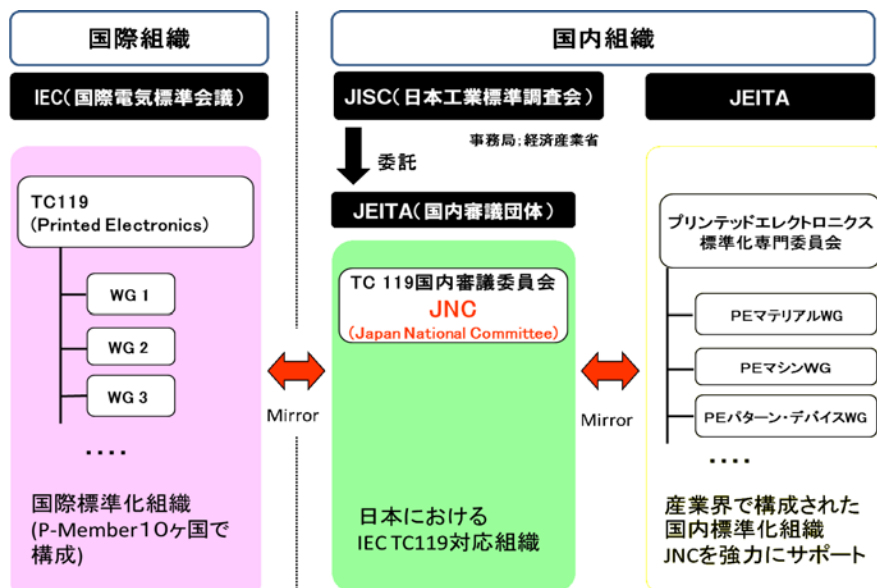


図2 IEC TC119国内審議委員会とプリントドエレクトロニクス標準化専門委員会の関係

プリントドエレクトロニクスに関する国際標準化活動は、日本が主導的立場で取り組んでいく必要があります。その重要性の理解・認識の基に、我が国の優れた技術を保有している関連企業（デバイス、プロセス、装置、材料、製品等）の自覚と使命をもった寄与貢献が望まれています。また、欧・米・アジアで当該産業が活発化する中、国際競争力のあ

る産業育成を図っていくことが求められています。

JEITAでは、我が国産業界の主導による国際標準化開発と産業界の利益確保の観点から、各社の事業戦略に役立てて頂くべく、有益な情報を共有して一致団結した活動を図っていくことを目指しています。

【プリントドエレクトロニクス標準化専門委員会の参加について】

プリントドエレクトロニクスは今後、エレクトロニクス製品の製造過程において、根本的な変革をもたらす重要な産業です。当該産業における国内外の標準化活動の取り組みに賛同され、参加を希望する企業は、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 一般社団法人電子情報技術産業協会 知的基盤部 TEL : 03-5218-1059 e-mail : tsc4@jeita.or.jp